



■昭和33年の、澤田先生の記事です。

澤田洋一さん

(さわだ・よういち)

昭和7年12月、身延町生まれ。昭和29年の都留市制施行時に都留市民合唱団を立ち上げ、以後指導を続けている。

昭和34年より、東桂在住。都留市文化協会をはじめ、さまざまな団体の長・代表を務める。

市民合唱の夕

都留市文化祭のひとりと
して来る十一月十五日午後
七時より谷村第一小学校講
堂において市民合唱の集
いが開かれます。

都留市民歌
すすき
踊のあした
都留市民合唱団
指揮 沢田洋一
ピアノ 独奏
青葉音楽研究所
女性合唱
潮の音

川
ぶどうの実合唱団
指揮 福田照子
独唱 沢田洋一
市民合唱 指揮 沢田洋一

新書 図書
田中惣五郎 西郷隆盛
高柳 光寿 明智光秀
藤原 弘達 保守親裁論
永井 道雄 文部省と日教
日高孝次他 ニテケット



先生は本市でなく、身延のご出身ということですが、都留にはいつごろからお住まいですか？

都留に住み始めたのは、結婚を機に昭和34年からですね。

では、都留市とのかかわりも昭和34年からですか？

いや、実は昭和28年に西桂中学校に赴任してしまして、翌年の昭和29年には都留市の市民合唱団を

家に一冊、車に一冊。広報は私の愛読書です。

立ち上げて、活動をしていました。ですから、都留市制施行のときから都留とは深いつながりがありましたね。

昔の広報つるを見て、いかがでしょう。

私は文化協会の立ち上げからもかわっていましたので、この昔の文化祭の記事は大変興味がありますね。これは大変貴重なものですね。

実は先生、先日広報の600号記念特集を作るために昔の広報を見ていたら、先生のお名前を発見しました。

ほー、それはすごい！何年ごろの記事かねえ。文化祭関連の記事かなあ。確か、1回目の文化祭はまだ文化協会ができていなかった時だったなあ。

あ、ここです！昭和33年11月3日発行、第45号です（上記写真参照）。

おお、「市民合唱の夕」とあるね。「指揮 沢田洋一」本当だ。なんとなく、当時のことは覚えてるね。

先生、独唱もされてますね。

おー、独唱もしたねえ（笑）。

先生は昔からこうした文化活動にかかわってきているので、広報とのつながりは深いんですね。

そうですね、もう昔から広報はよく見てましたよ。こうして記事

にしていたこともありました。

現在でも広報はよく見ますか？

もちろん。家に一冊は届くんだけど、公共施設にも置いてあるものを持ってきたりして、家に一冊、車に一冊、という風にいろんなところで目を通すようにしていますね。

そんなに読んでいただいているんですか。

そう。わたしは文化協会の会長の他にも、東桂地区協働のまちづくり推進会長など、まちづくりに関係する仕事をいくつもやらせていただいているので、広報を見て、いつ、どこで、どんな催しがあるのかを知るのとは当然のことです。私は、地域のことを知らないといけない。逆に、そういった地域の情報を得るには広報しかない。私の愛読書といってもいいかも知れません。

—そういつていただけると、非常にうれしいです。今後の広報にはなにか要望などありますか？

これから地域情報をきめ細やかに伝えていってほしいと思います。やはり一番身近な情報誌なので、市民の方々が皆さんが読んでくれるような紙面を作っていってください。

—貴重なお話をお伺いさせていただき、ありがとうございました。

